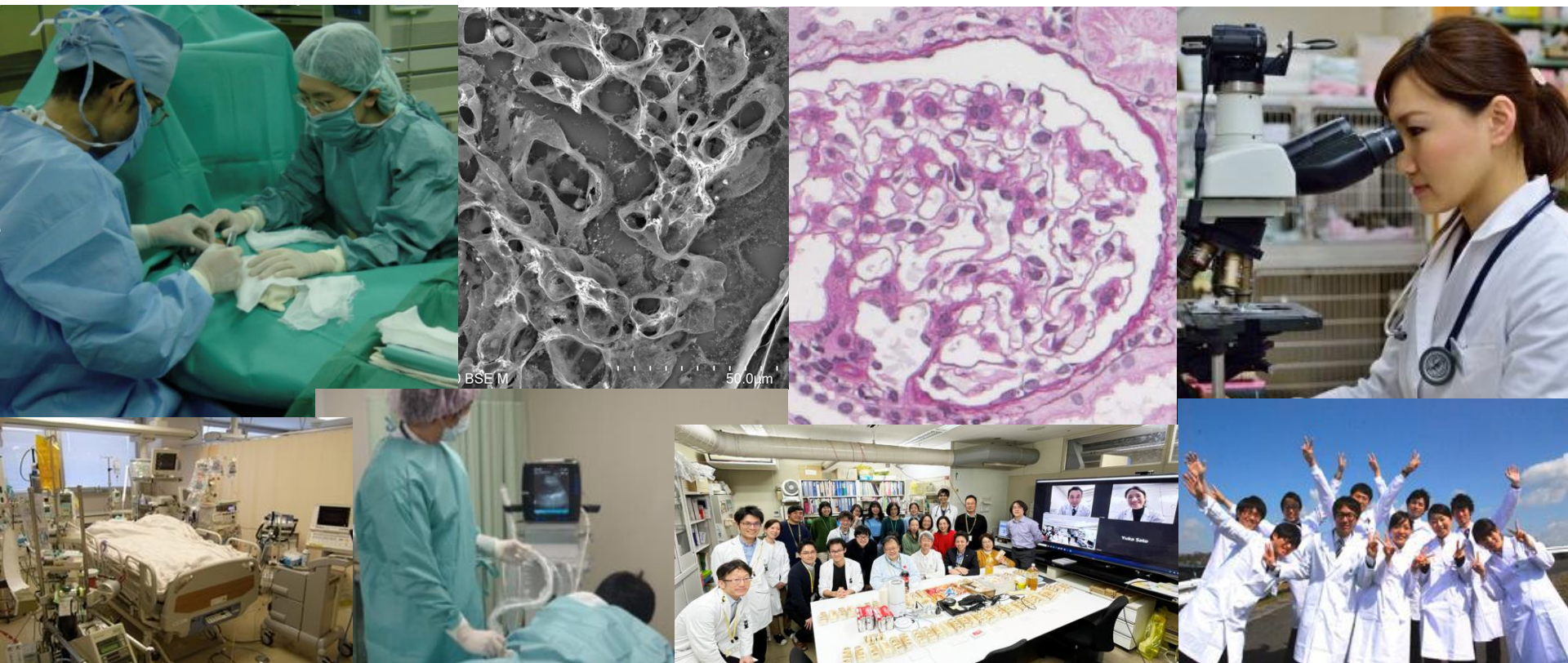
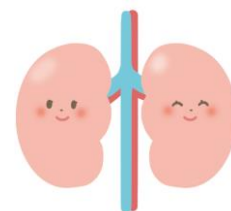


腎臓内科学講座



令和6年5月8日

名古屋大学大学院医学系研究科
病態内科学講座 入局説明会



名古屋大学腎臓内科の使命

腎臓病の診療、教育、研究を通して
社会に貢献します。

For the Public

1. 診療

世界最高水準の医療を提供
地域医療の支援
腎臓病診療の向上

2. 教育

Physician Scientist の育成

3. 研究推進

世界レベルの腎臓研究拠点に
診療を変える研究を

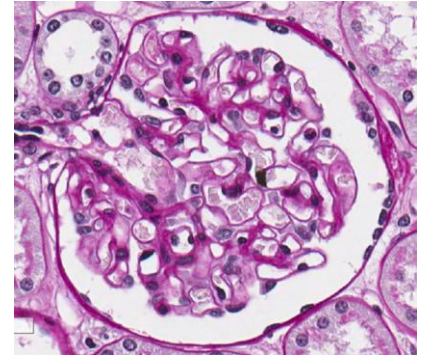
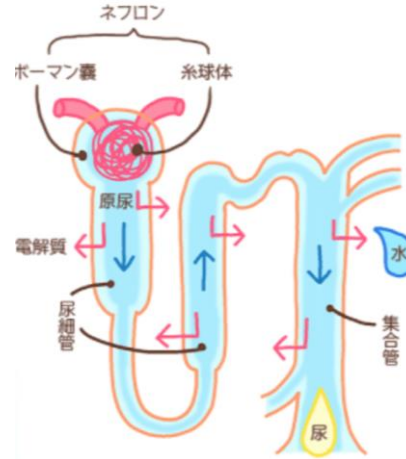
2016- 第2代教授/現病院長
丸山彰一先生



2002-2015 初代教授/元病院長
東海国立大学機構 機構長 松尾清一先生

腎臓内科ってどんな仕事？

- 急性腎傷害（AKI）
- 水・電解質異常、酸塩基平衡異常
- 高血圧管理
- 感染症管理（免疫不全患者も多い）
- 腎炎・ネフローゼ症候群
- 腎生検 ⇒ 腎病理診断（腎臓内科で診断しています）
- 自己免疫疾患／膠原病（SLE、強皮症、血管炎、シェーグレン症候群など）
- 慢性腎臓病（CKD、予防～末期の管理まで）
- 血液透析（内シャント作成も腎臓内科で行います）
- 腹膜透析（カテーテル挿入術も他科と一緒にいきます）
- 腎移植（泌尿器科と一緒にフォローしていきます）
- 血液浄化（血漿交換、免疫吸着、顆粒球除去、LDLアフェレーシスなど）



腎臓内科医の魅力は？

□ 内科の**幅広い知識**が身に付きます（**腎臓を切り口に全身を診る**）

□ **腎病理の診断**もできるようになります

□ **膠原病も積極的に**学べます（腎臓が関連する）

□ 手術（シャント作成など）や血管内治療なども行えます

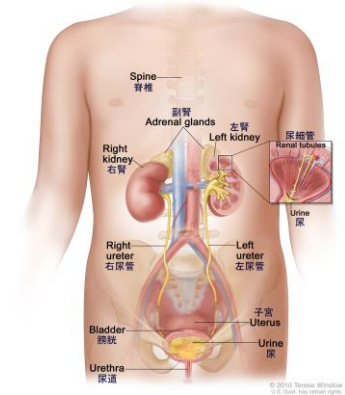
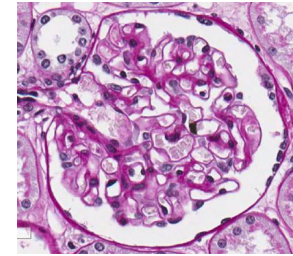
□ **予防から末期の管理**まで、患者のライフスタイルにわたって関わられます

□ 生理学、生化学、免疫学の知識がダイレクトに病態把握に役立つ

□ 穏やかでやさしく、教え好きな先生が多い！

□ **しっかりとした教育システム**があります（NNFP）

□ **キャリアプランも幅広く**あり、いろいろな方に対応

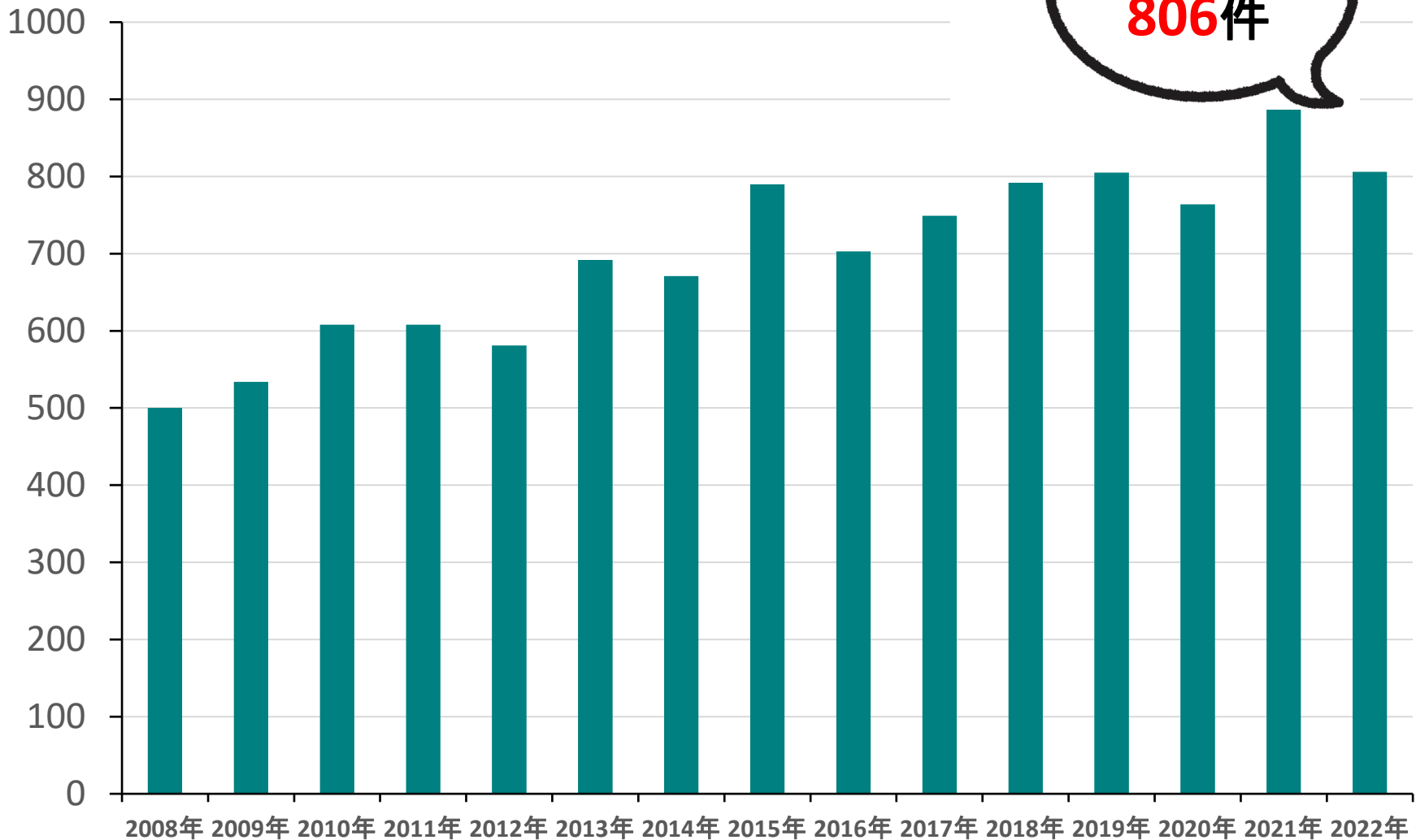


名大関連病院 腎生検/診断 総症例数

おそらく！？日本一の症例数

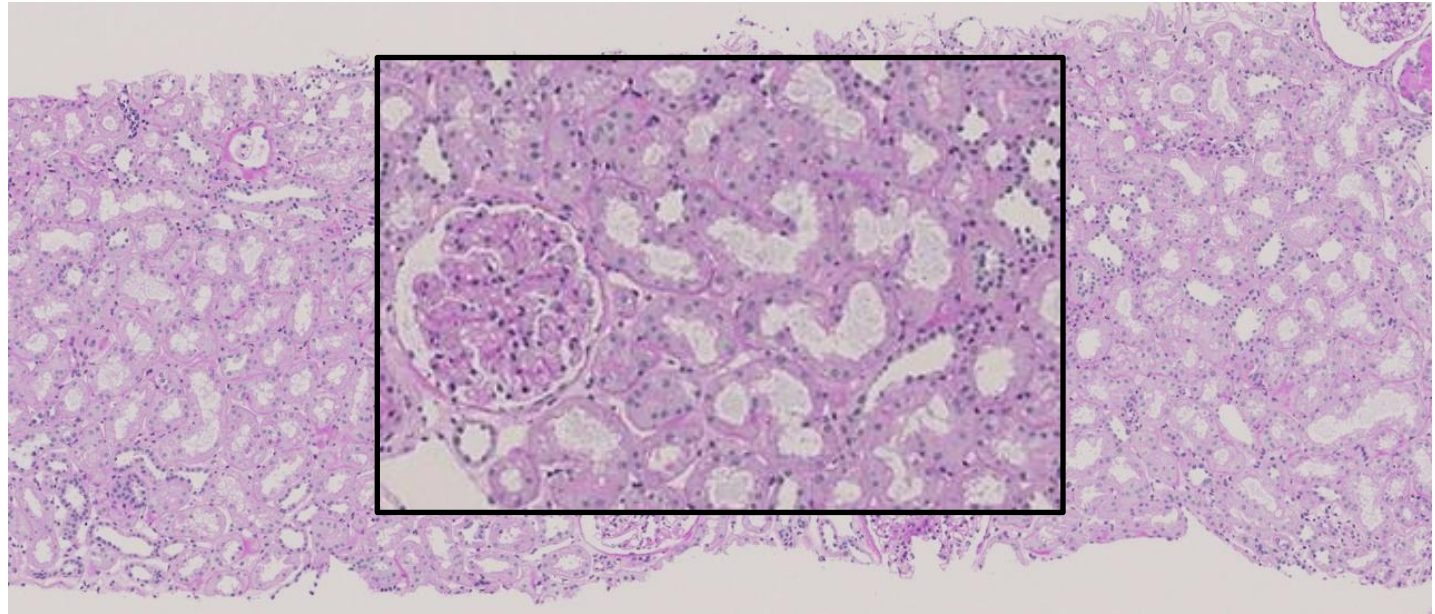
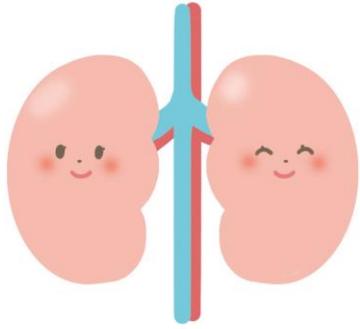


2022年
806件

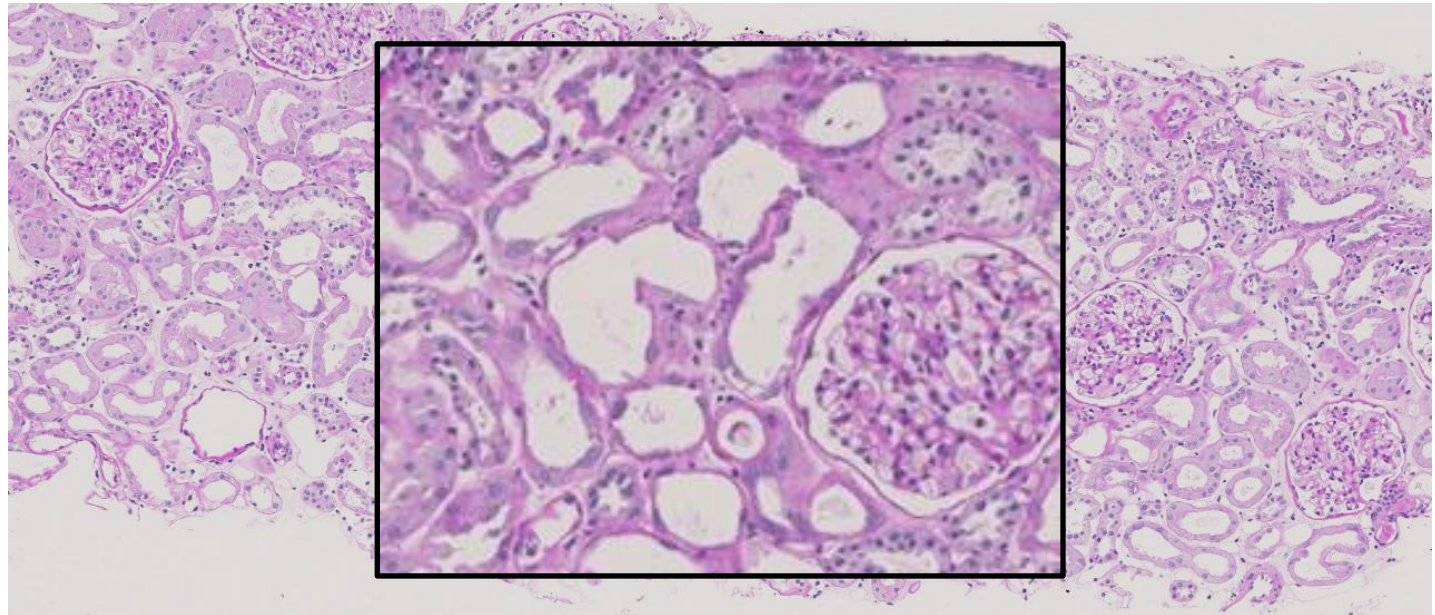
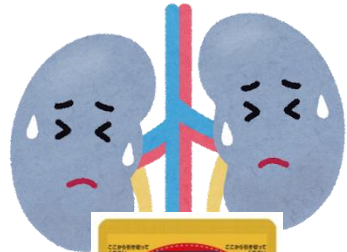


症例が豊富である（例：最近問題になっている症例も…）

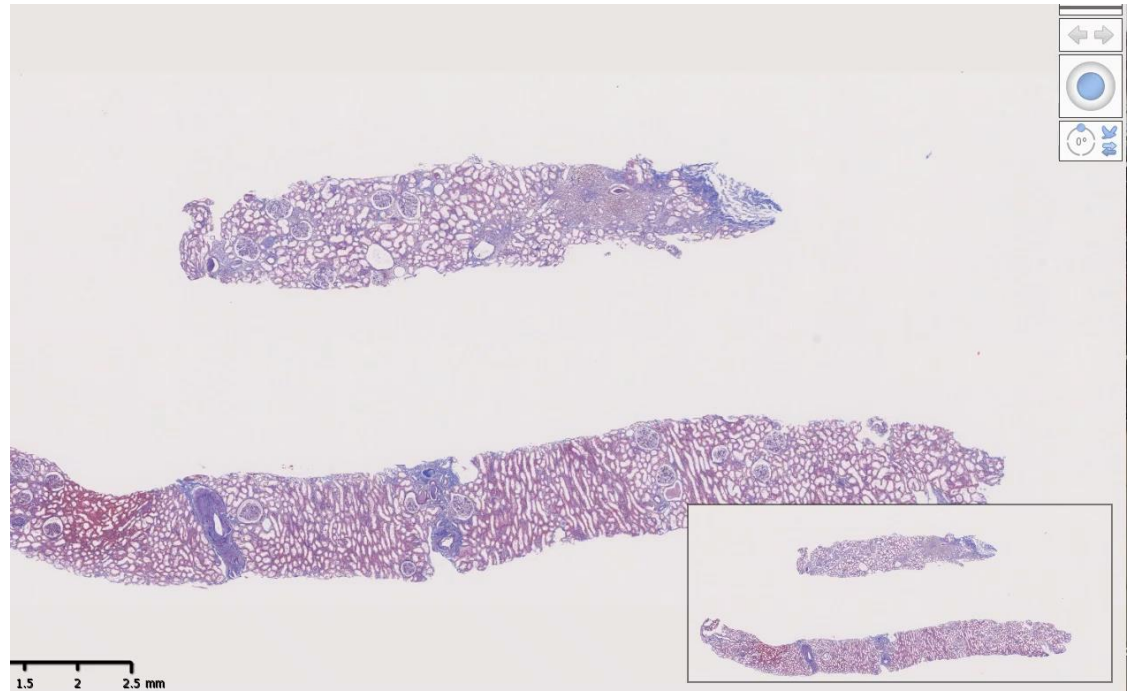
正常



腎機能低下



バーチャルスライドシステムの導入



2023年より、バーチャルスライドシステムの導入を行いました。

**みんなで病理所見を議論して、診断・治療に
役立てれるのは楽しいですよ！！**

尾関先生



教育プログラムが充実している

Nagoya Nephrology Fellowship Program (NNFP)

- ・名古屋大学腎臓内科と関連病院で共通の専門医養成プログラム
- ・3年間で腎臓内科専門医を養成するための統一したプログラム
- ・プログラム内容
水・電解質、酸塩基平衡から、AKI、腎代替療法、腎病理診断など
学外より講師を招くとともに、**卒後6年目の先生がチューター**となり
身近な問題点を解決。
- ・プログラム参加者で全課程を研修した先生に修了証を発行。

20年以上続く腎臓専門医育成プログラムで、
今年夏の会で**第45回**をむかえます。

教育のノウハウがたくさんあります！

名古屋腎臓内科専門医養成プログラムNNFP

「第36回NNFP」



医療法人社団東仁会吉祥寺あさひ病院
副院長 安田 隆 先生
聖マリアンナ医科大学／川崎市立多摩病院
富永 直人 先生

「第37回NNFP」



中山駅前クリニック・虎の門病院 腎センター内科
上野 智敏 先生

延べ参加人数
700人以上

参加施設：22施設
(大阪、長野、島根からも)

第45回 NNFP

テーマ：多彩な電解質異常に立ち向かう！

日時：2024年7月27日(土)、28日(日)

勉強になりますよ！
ご参加はHPより！

尾関先生



大学における臨床

- ・ 腎炎、膠原病、腎不全を中心とした診療
- ・ 腎代替療法（血液透析、腹膜透析）
- ・ **腎移植**（泌尿器科と協力）
- ・ **腎生検の病理診断**（年間800例以上）
- ・ 腹膜透析・多発性嚢胞腎・膠原病の専門外来開設
- ・ 希少疾患（aHUS）の疾患事務局運営(厚労省難病研究)
- ・ 脂肪幹細胞治療
- ・ 膜性腎症に対する医師主導治験（2023年5月-）



名大
10E病棟！

腎臓病を克服する研究を多方面からすすめています！

Adipose-derived mesenchymal Stem Cell 脂肪由来間葉系幹細胞

新規治療を開発しませんか？

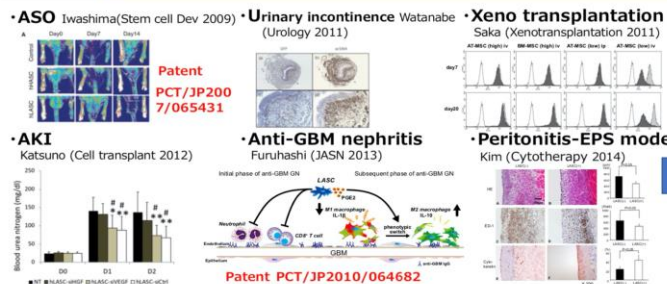


古橋先生

MSCの治療特性

MSCの治療特性

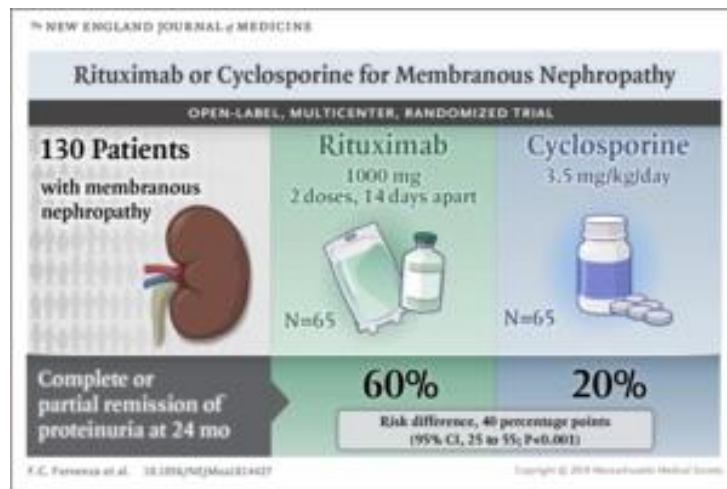
1. 疾患の炎症が強ければ強いほど、MSC強い免疫抑制作用を示す。
2. 全身の免疫抑制作用は少なく、炎症局所でのみ作用する。



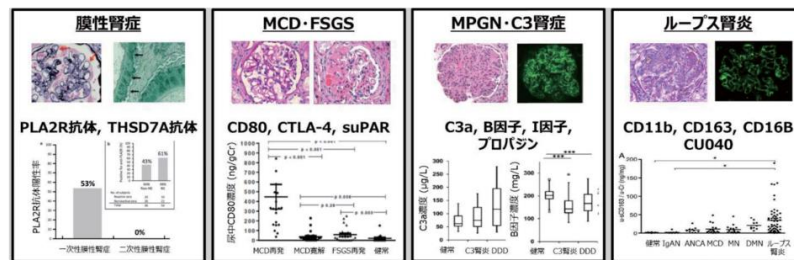
治療抵抗性IgA腎症に対して、医師主導治験を開始した。(NCT04342325)

臨床研究も多数走らせています！

膜性腎症に対する医師主導治験



AMED研究開発課題名： ネフローゼ症候群の新規診断法の確立



これらのバイオマーカーについて、日本の症例で検討する。

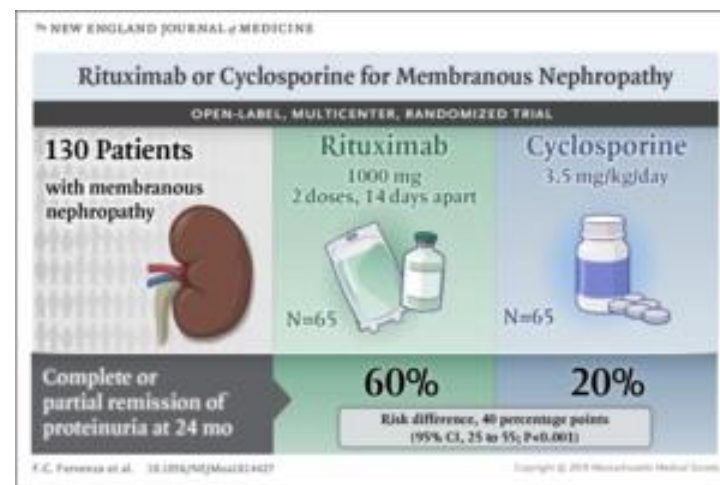
将来、新たなバイオマーカーについても研究する。

臨床研究から新しいエビデンスを！



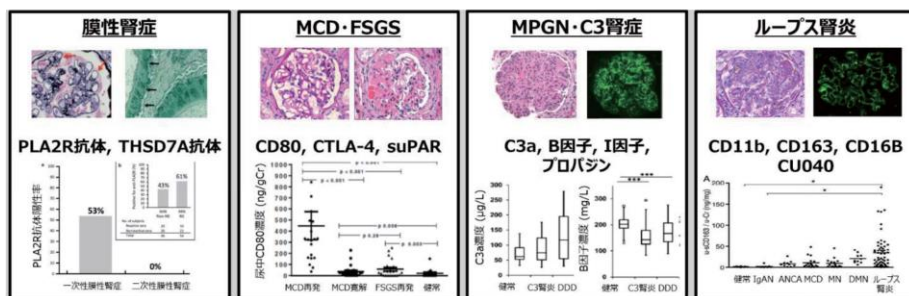
加藤佐和子先生

新しいエビデンスを
創生してみよう



膜性腎症に対する
医師主導治験

AMED研究開発課題名： ネフローゼ症候群の新規診断法の確立



これらのバイオマーカーについて、日本の症例で検討する。



将来、新たなバイオマーカーについても研究する。



田中先生

これ以外にも多数の
臨床研究が走っています！

腎臓内科でキャリアを築いてみませんか

皆さんは腎臓内科医というと、どの様なイメージを持つでしょうか。

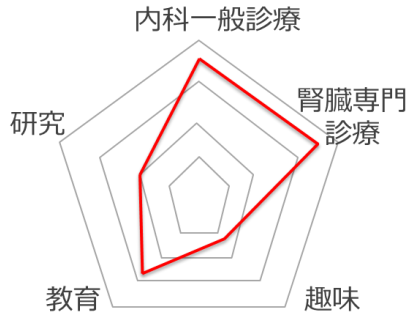
- ・急性腎傷害、水・電解質酸塩基平衡異常
- ・腎炎・ネフローゼ症候群、腎生検、腎病理診断
- ・自己免疫疾患・膠原病
- ・内シャント作成/血管内治療
- ・慢性腎臓病→腎代替療法（血液透析/腹膜透析/腎移植）
- ・教育に力を入れる
- ・腎臓生理学、生化学、免疫学、病理学



色々なタイプのドクターがいて、それぞれの得意分野で輝ける！

キャリアプランの一例

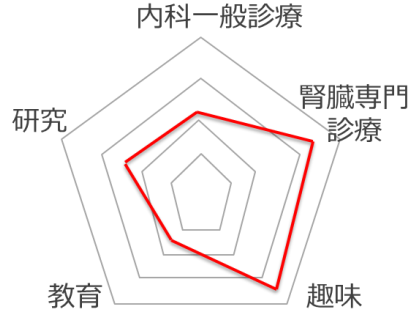
ジェネラリスト 教育熱心



全身診て、診断するのは内科の醍醐味です



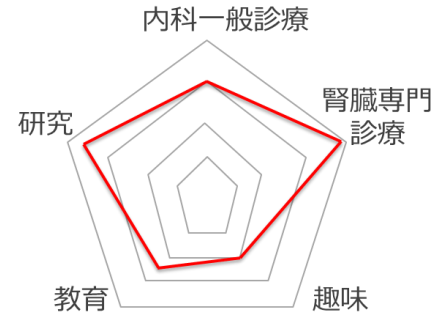
腎病理診断 臨床研究



腎病理診断は奥深いですよ



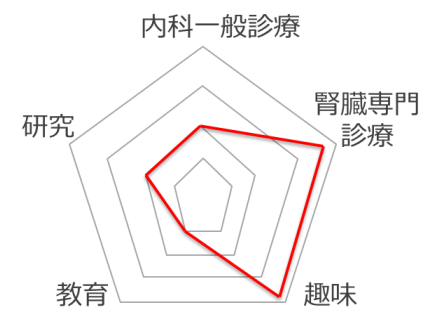
大学で基礎研究 腎臓専門診療



研究も一度は経験してほしい



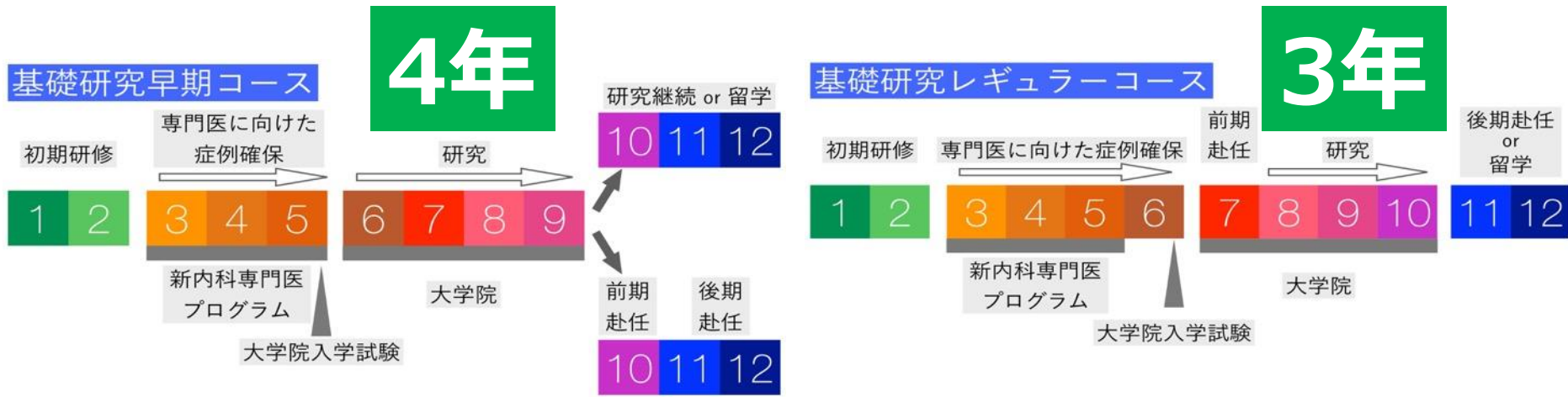
透析クリニック勤務 プライベートも重視



透析診療はプライベートと両立させやすいです



大学院基礎研究コース



大学院臨床研究コース

医員コース



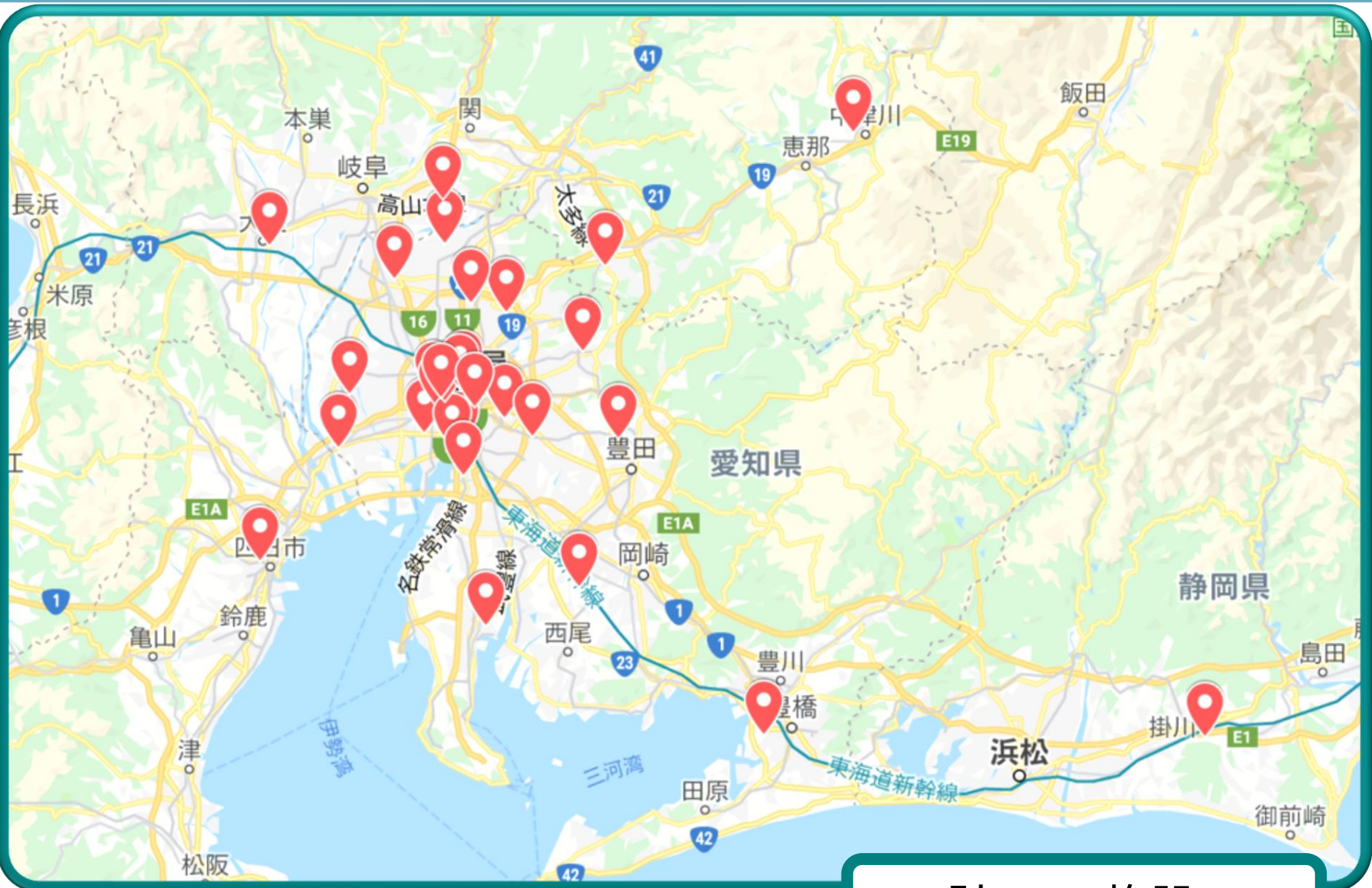
個々の状況にも柔軟に対応します

入局者数の推移：年別

入局年	総数	男性	女性	名大	他大学卒
H30年	22	17	5	11	11
R1年	15	13	2	6	9
R2年	10	7	3	2	8
R3年	19	11	8	4	15
R4年	13	6	7	3	10

女子：男子 = 約 1：2 名大：他大 = 約 1：2

名古屋大学腎臓内科の関連病院



計 31施設

名古屋大学腎臓内科HPにアクセスください

「名大」、「腎臓」、「後期研修医」にてアクセスを！

名古屋大学 腎臓内科 HP

The screenshot shows the homepage of the Nagoya University Hospital Department of Nephrology. The header includes the department name in English and Japanese, and navigation links: HOME, ブログ (Blog), お問い合わせ (Contact), 患者さんへ (To Patients), 臨床研修のご案内 (Clinical Training Guide), ご紹介・専門外来 (Introduction/Special Outpatient), 医局案内 (Medical Office Guide), NNFP (Nagoya Nephrology Network for Professional Practice), and 研究について (About Research). The main banner features illustrations of medical staff and the text: 腎臓内科の診療・教育・研究を通じて社会に貢献します (Contributing to society through treatment, education, and research in nephrology). Below the banner, a message states: 名古屋大学腎臓内科は 後期研修医募集中です！ (Nagoya University Hospital Department of Nephrology is currently recruiting postgraduate trainees!). The footer contains three boxes: 1. 『糖尿病性腎症』に対する先進医療のご案内 (Advanced medical treatment for diabetic kidney disease), mentioning LDLアフェレーシス療法 (LDL apheresis therapy). 2. 脂肪由来幹細胞を用いた再生医療 (Regenerative medicine using fat-derived stem cells), mentioning MSC細胞とiPS細胞 (MSC cells and iPS cells). 3. 非典型溶血性尿毒症症候群 (aHUS) 疾患事務局 (Atypical hemolytic uremic syndrome (aHUS) disease secretariat), mentioning patient consultation and blood sample collection. Red circles and arrows highlight key features: '臨床研修のご案内' and 'NNFP' are circled in the header, with arrows pointing to 'NNFP (教育プログラム)' and '研修案内' (Training Guide). The '後期研修医募集' (Postgraduate trainee recruitment) message is circled, with an arrow pointing to '専攻医募集' (Specialized doctor recruitment). A bracket on the right side of the footer boxes points to '臨床研究 その他' (Clinical research and other).

名古屋大学病院
DEPARTMENT OF NEPHROLOGY
名古屋大学大学院医学系研究科
病態内科学講座腎臓内科

HOME ブログ お問い合わせ
患者さんへ 臨床研修のご案内 ご紹介・専門外来 医局案内 NNFP 研究について

腎臓内科の診療・教育・研究
を通じて社会に貢献します

名古屋大学腎臓内科は 後期研修医募集中です！

『糖尿病性腎症』
に対する
先進医療のご案内
LDLアフェレーシス療法
について等
詳しくみる >

脂肪由来幹細胞
を用いた
再生医療
MSC細胞とiPS細胞
の違い等
詳しくみる >

非典型溶血性尿毒症
症候群 (aHUS)
疾患事務局
疾患相談や、
補体検査の受付
詳しくみる >

NNFP
(教育
プログラム)

研修案内

専攻医募集

臨床研究
その他



腎臓内科で
ぜひ一緒にやりましょう！



前田 佳哉輔

ご清聴ありがとうございました。

お問い合わせは、
腎臓内科 医局長 前田 佳哉輔まで
(まえだ かやほ)

Email: maeda15@med.nagoya-u.ac.jp